

(記入例)

様式第2

光化学オキシダント緊急時措置等実施計画書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

神奈川県知事殿

住所 横浜市中区〇〇町4丁目15番

氏名 〇〇産業株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇

押印不要

<例外>
対象施設について大気汚染防止法の各種手続きに関する権限が代理人に委任されている場合、代理人による届出も可

法人にあつては、名称及び代表者の氏名

神奈川県大気汚染緊急時措置要綱第9条第2項の規定により、標記計画書を、次のとおり提出します。

- 工場又は事業場の名称 〇〇産業株式会社〇〇工場
- 工場又は事業場の所在地 〒230-0000 横浜市鶴見区〇〇町3-92
電話番号 (045) 504-〇〇〇〇

3 緊急時措置等の具体的措置

別紙のとおり

備考 計画書及び別紙の用紙の規格は、日本産業規格A4としてください。

(記入例) 措置の内容：原燃料使用量を削減の場合

【例 燃料使用量の削減や稼動停止】

別紙

下記備考2に注意してください。

4月から10月の期間で昼間(10時から16時)の稼動状況を代表する数値

重油換算使用量(燃料使用量×原燃料係数×施設係数)も記入

| 窒素酸化物に対する措置 | | ボイラー | ディーゼルエンジン | 工場全体 |
|-----------------|--|---|--|--------------------------|
| ばい煙発生施設の種類の | | | | |
| 施設番号 | | 1 | 2 | |
| 通常の1時間当たりの燃料使用量 | | 都市ガス 500 Nm ³ /h 重油換算 570 l/h | A重油 71 l/h 重油換算 1,420 l/h | 重油換算 1,990 l/h |
| 前日予報時における措置 | | 燃料使用量の削減 都市ガス▲50 Nm ³ /h 重油換算▲57 l/h | 燃料使用量の削減 A重油 ▲7.1 l/h 重油換算▲142 l/h | 燃料使用量の削減 重油換算▲199 l/h |
| 削減率 | | 10% | 10% | 10% |
| 当日予報時における措置 | | 同上 都市ガス▲100Nm ³ /h 重油換算▲114 l/h | 同上 A重油 ▲14.2 l/h 重油換算▲284 l/h | 同上 重油換算▲398 l/h |
| 削減率 | | 20% | 20% | 20% |
| 注意報時における措置 | | 同上 都市ガス▲100Nm ³ /h 重油換算▲114 l/h | 同上 A重油 ▲19.2 l/h 重油換算▲384 l/h | 同上 重油換算▲498 l/h |
| 削減率 | | 20% | 27% | 25% |
| 警報時における措置 | | 同上 都市ガス▲100Nm ³ /h 重油換算▲114 l/h | 同上 A重油 ▲19.2 l/h 重油換算▲384 l/h | 同上 重油換算▲498 l/h |
| 削減率 | | 20% | 27.0% | 25% |
| 重大警報時における措置 | | 同上 都市ガス▲150Nm ³ /h 重油換算▲171 l/h | 同上 A重油 ▲31.3 l/h 重油換算▲626 l/h | 同上 重油換算▲797 l/h |
| 削減率 | | 30% | 44.1% | 40% |

***重要**
削減率が規定より少ない場合は、その理由を述べた説明資料1を必ず提出してください。

***重要**
削減率が規定より少ない場合は、その理由を述べた説明資料2を必ず提出してください。

***重要**
削減率が規定より少ない場合は、その理由を述べた説明資料1を必ず提出してください。

備考1 主要ばい煙排出者として実施する措置を、要綱別表第3に記載するところにより記入してください。

2 計画は施設ごとに記入してください。ただし、施設が3つ以上の場合は合計のみ記入し、内訳書(A4規格)を添付してください。

(記入例) 措置の内容: NOx 排出量を削減する場合
【例 脱硝強化等】

別紙

1 窒素酸化物に対する措置

下記備考2に注意
してください。

燃料削減以外
の対策を行
う場合は、
通常のNOx
排出量、NOx
濃度(ppm)も
記入。工場
全体の列に
は、工場全
体でのNOx
排出量を記
入。

4月から10
月の期間で
昼間(10時
から16時)
の稼動状況
を代表する
数値

重油換算
使用量
(燃料使用量
×原燃料係
数×施設係
数)も記入

| ばい煙発生施設の種類の | ボイラー | ディーゼルエンジン | 工場全体 |
|-----------------------|--|---|---|
| 施設番号 | 1 | 2 | |
| 通常の1時間当たりの 燃料使用量 | 都市ガス 500 Nm ³ /h 重油換算 570 l/h NOx排出量 0.3Nm ³ /h NOx濃度 40ppm | A重油 71 l/h 重油換算 1,420 l/h NOx排出量 0.5Nm ³ /h NOx濃度 80ppm | 重油換算 1,990 l/h NOx排出量 0.8Nm ³ /h |
| 前日予報時における措置 | NOx排出量の削減 ▲0.03 Nm ³ /h (NOx濃度 36ppm) | NOx排出量の削減 ▲0.05 Nm ³ /h (NOx濃度 72ppm) | NOx排出量の削減 ▲0.08 Nm ³ /h |
| 削減率 | 10% | 10% | 10% |
| 当日予報及び特別予報時 における措置 | 同上 ▲0.06 Nm ³ /h (NOx濃度 32ppm) | 同上 ▲0.1 Nm ³ /h (NOx濃度 64ppm) | 同上 ▲0.16 Nm ³ /h |
| 削減率 | 20% | 20% | 20% |
| 注意報時における措置 | 同上 ▲0.06 Nm ³ /h (NOx濃度 32ppm) | 同上 ▲0.1 Nm ³ /h (NOx濃度 64ppm) | 同上 ▲0.16 Nm ³ /h |
| 削減率 | 20% | 20% | 20% |
| 警報時における措置 | 同上 ▲0.08 Nm ³ /h (NOx濃度 30ppm) | 同上 ▲0.13 Nm ³ /h (NOx濃度 60ppm) | 同上 ▲0.21 Nm ³ /h |
| 削減率 | 25% | 25% | 25% |
| 重大警報時における措置 | 同上 ▲0.12 Nm ³ /h (NOx濃度 24ppm) | 同上 ▲0.2 Nm ³ /h (NOx濃度 48ppm) | 同上 ▲0.32 Nm ³ /h |
| 削減率 | 40% | 40% | 40% |

*重要
削減率が規
定より少な
い場合は、
その理由を
述べた説明
資料1を
必ず提出し
てください。

*重要
削減率が規
定より少な
い場合は、
その理由を
述べた説明
資料2を
必ず提出し
てください。

*重要
削減率が規
定より少な
い場合は、
その理由を
述べた説明
資料1を
必ず提出し
てください。

備考1 主要ばい煙排出者として実施する措置を、要綱別表第3に記載するところにより記入してください。

2 計画は施設ごとに記入してください。ただし、施設が3つ以上の場合は合計のみ記入し、内訳書(A4規格)を添付してください。

2 1 以外の施設から発生する窒素酸化物に対する措置

- ・ 廃棄物焼却炉を発令時間中、停止する。

*** 重要**

- ・ 炭化水素系物質の取扱がある場合、説明資料 3を提出してください。
- ・ 炭化水素系物質の取扱量、その工程及び削減内容を説明する資料がある場合は、併せて提出してください。

3 炭化水素系物質に対する措置

| 物質名 | 取扱形態 | 排出防止措置 |
|--------|------|--|
| 原油 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 措置の概要を記入 (措置内容は説明資料 3 に記入) ・ 常時削減対策を実施している場合は、その概要を記入 (対策内容は説明資料 3 に記入) |
| 揮発油 | | |
| ナフサ | 貯蔵 | 発令時間中のタンクローリーによる貯蔵槽への受け入れ作業を中止する。 |
| ジェット燃料 | | |
| 溶剤 | 塗装 | 発令時間中の塗装作業を中止する。 |

備考 3 の措置欄は、原油、揮発油、ナフサ、ジェット燃料及び混合有機溶剤（1 気圧の状態において留出量が 5 % のときの温度が 100 度以下のもの）又は単一有機溶剤（1 気圧の状態において、沸点が 100 度以下であるもの）を取り扱っている場合に記入してください。